

交付運用報告書

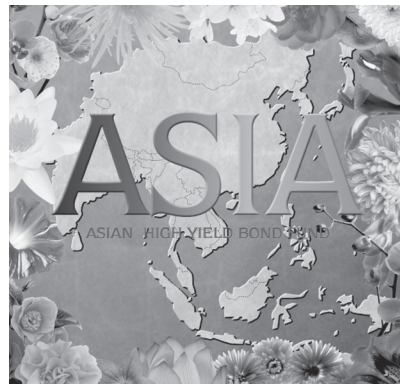
アジア・ハイ・イールド債券ファンド (毎月分配型) 成長通貨コース

追加型投信／海外／債券

作成対象期間：2018年8月11日～2019年2月12日

第82期 決算日：2018年9月10日 **第83期** 決算日：2018年10月10日

第84期 決算日：2018年11月12日 **第85期** 決算日：2018年12月10日

第86期 決算日：2019年1月10日 **第87期** 決算日：2019年2月12日


受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、日本を除くアジア（オセアニアを含む）のハイ・イールド債券（米ドル建て等）を実質的な主要投資対象とします。相対的に金利水準が高く、成長性が高いと考えられる6通貨の為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）の獲得を目指し、インカムゲインの確保と信託財産の成長を目指します。当作成期もそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書（全体版）は下記の方法で閲覧いただけます。

なお、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

▶ 運用報告書（全体版）の閲覧方法


<https://www.sjnk-am.co.jp/>

にアクセス

「ファンド検索」等から当ファンドのページを表示して、閲覧またはダウンロードすることができます。



損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル
 お問い合わせ先：クライアントサービス第二部

(受付時間 営業日の午前9時～午後5時)

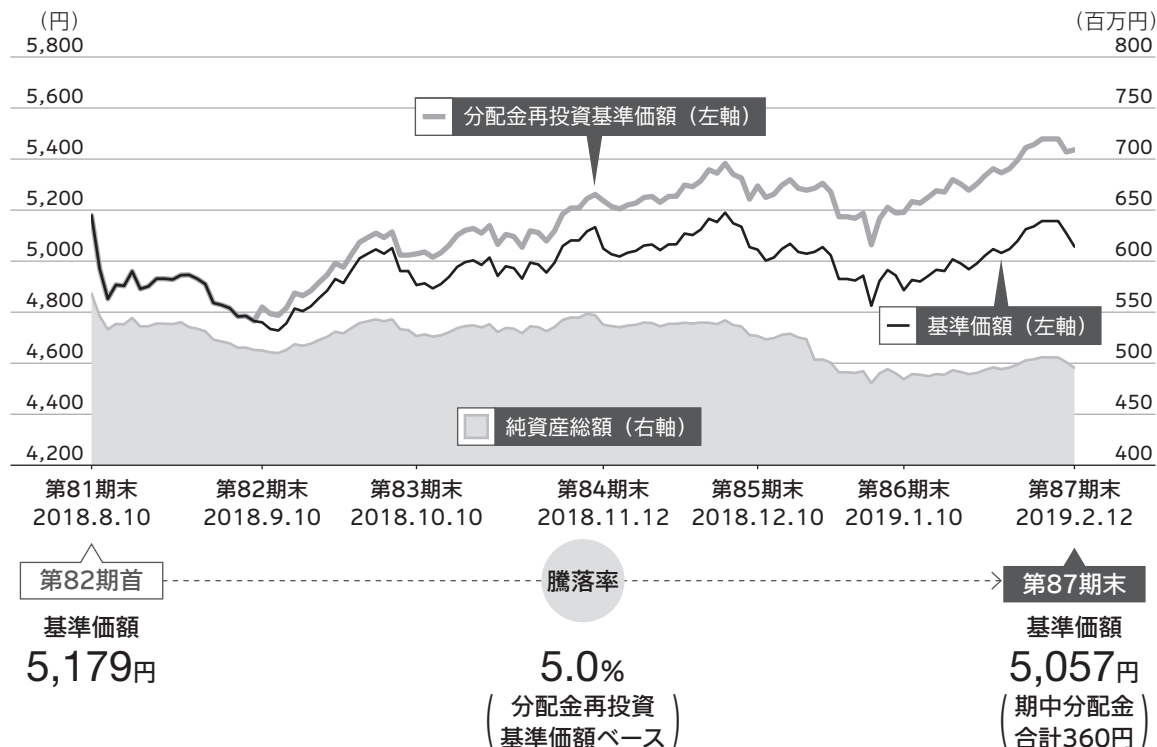

0120-69-5432

第87期末 2019.2.12	
基準価額	5,057円
純資産総額	495百万円
第82期～第87期 2018.8.11～2019.2.12	
騰落率*	5.0%
期中分配金合計	360円

* 騰落率は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

運用経過

● 基準価額の推移



基準価額の推移

- 分配金再投資基準価額の推移は、2018年8月10日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンドへの投資比率を可能な限り高位に保ちますが、当該投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 基準価額の主な変動要因

アジア・ハイ・イールド債券ファンド（毎月分配型） 成長通貨コース

主要投資対象である「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）」および「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）」は、債券部分、為替部分ともにプラスに寄与し、分配金再投資基準価額の騰落率はプラスとなりました。

- 本報告書では、ベビーファンドとファンド・オブ・ファンズを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド  ファンド・オブ・ファンズ

● 1万口当たりの費用明細

期中の1万口当たりの費用の割合は**0.508%**です。

項目	第82期～第87期 2018.8.11～2019.2.12		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	25円	0.506%	(a) 信託報酬 = 各期中の平均基準価額 × 信託報酬率 (年率) × $\frac{\text{各期の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は5,003円です。
(投信会社)	(10)	(0.193)	ファンドの運用の対価
(販売会社)	(15)	(0.297)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(1)	(0.017)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.002	(b) その他費用 = $\frac{\text{各期中のその他費用}}{\text{各期中の平均受益権口数}}$
(監査費用)	(0)	(0.001)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	25	0.508	

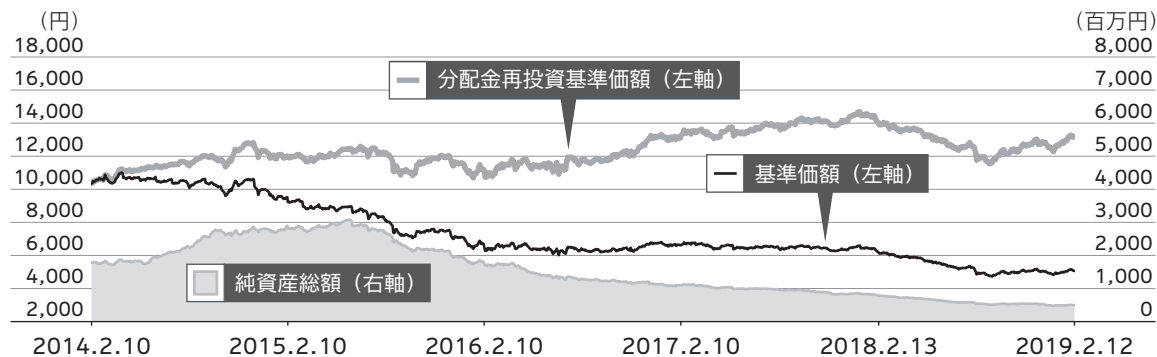
注1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

注4. 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

● 最近5年間の基準価額等の推移 2014.2.10~2019.2.12



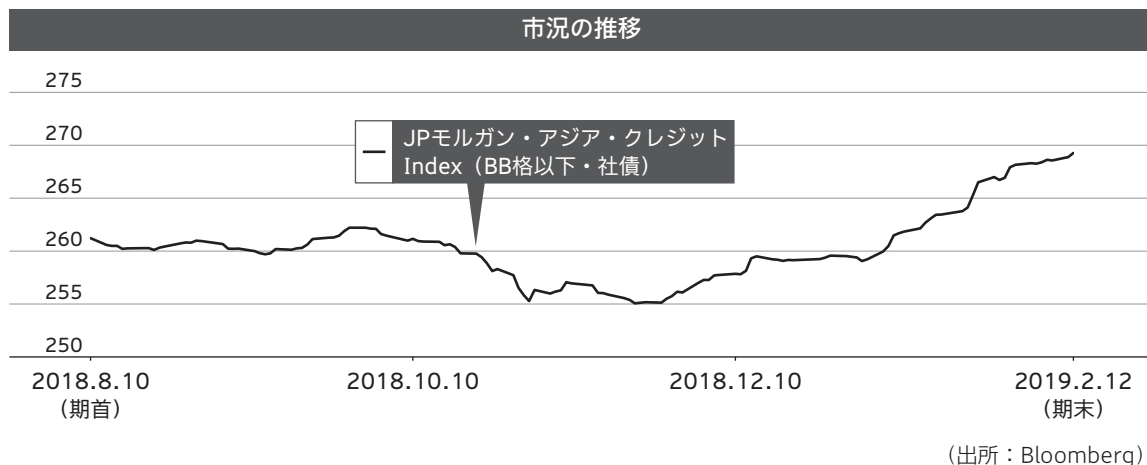
- 分配金再投資基準価額の推移は、2014年2月10日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンドへの投資比率を可能な限り高位に保ちますが、当該投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

決算日	2014.2.10 決算日	2015.2.10 決算日	2016.2.10 決算日	2017.2.10 決算日	2018.2.13 決算日	2019.2.12 決算日
基準価額 (円)	10,343	9,232	6,560	6,617	6,174	5,057
期中分配金合計 (税引前) (円)	—	2,640	2,220	1,030	820	720
分配金再投資 基準価額騰落率 (%)	—	15.4	△ 6.2	18.3	5.9	△ 6.1
純資産総額 (百万円)	1,781	2,817	1,765	1,100	787	495

● 投資環境

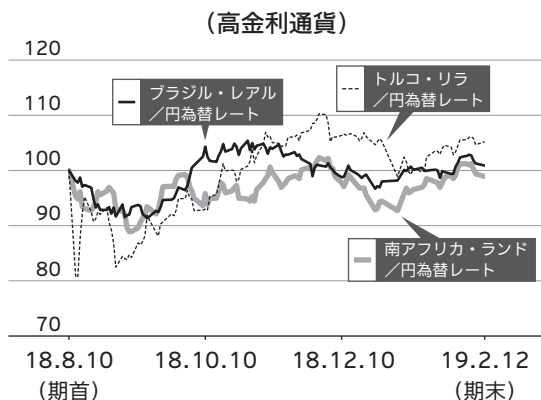
当期のアジア・ハイ・イールド債券市場は上昇しました。

期初は狭いボックス圏で揉み合いの展開が続きましたが、2018年10月に入ると、米中貿易摩擦による業績悪化懸念や原油安を背景に株式市場が下落する中、クレジットスプレッドが拡大したことからアジア・ハイ・イールド債券市場は下落しました。2019年年明け以降は、米中通商協議の進展期待の高まりや原油価格の上昇等を背景に主要株式市場が回復基調となったことから、クレジットスプレッドが縮小する形でアジア・ハイ・イールド債券市場は上昇に転じました。

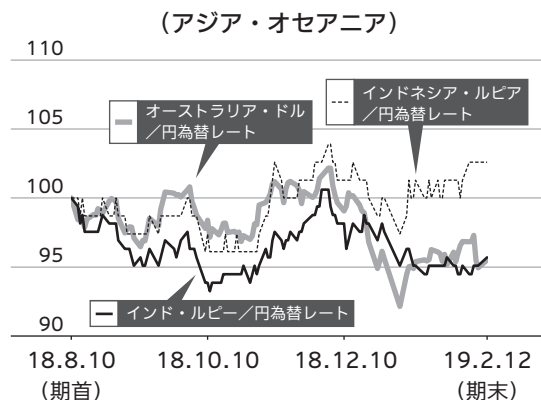


当期の為替市場は、FRB（米連邦準備理事会）が追加利上げに対して慎重な姿勢を示したことを受けて、2018年末にかけて急速に円高ドル安が進みました。アジア通貨については、年末にかけて円高ドル安が進む中、インドルピーとオーストラリアドルは対円で下落する展開となりました。インドネシアルピアは、11月にインドネシア中央銀行が追加利上げを決定したこと等を受けて相対的に堅調に推移しました。高金利通貨については、前期の大幅な下落から戻り基調となったことから、ブラジルレアルやトルコリラを中心に堅調な推移となりました。

為替レートの推移



出所：（ブラジルレアル・トルコリラ）投資信託協会
（南アフリカランド）Bloomberg



（出所：Bloomberg）

注1．為替レートは対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。

注2．為替レートは期首を100として指数化しております。

● 当該投資信託のポートフォリオ

期を通じて、「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）」および「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）」の投資比率を概ね均等に維持しました。

日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）

アジア・ハイ・イールド債券利回りが小幅上昇（価格は下落）した一方、クーポン収入等が貢献し、債券部分はプラスに寄与しました。

トルコリラ、ブラジルレアルが対円で上昇したことから、為替部分はプラスに寄与しました。

日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）

アジア・ハイ・イールド債券利回りが小幅上昇（価格は下落）した一方、クーポン収入等が貢献し、債券部分はプラスに寄与しました。

インドネシアルピアが堅調に推移した一方、インドルピー、オーストラリアドルが対円で下落したことから、為替部分はマイナスに寄与しました。

● 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンドへの投資比率を可能な限り高位に保ちますが、当該投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 分配金

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、合計360円の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第82期	第83期	第84期	第85期	第86期	第87期
	2018.8.11 } 2018.9.10	2018.9.11 } 2018.10.10	2018.10.11 } 2018.11.12	2018.11.13 } 2018.12.10	2018.12.11 } 2019.1.10	2019.1.11 } 2019.2.12
当期分配金	60	60	60	60	60	60
(対基準価額比率)	1.245%	1.208%	1.174%	1.175%	1.213%	1.173%
当期の収益	60	60	60	60	60	60
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	7,424	7,443	7,461	7,478	7,495	7,515

注1. 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

注2. 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

注3. 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

注4. 投資信託特有の会計処理により、「翌期繰越分配対象額」が基準価額を上回っている場合がありますが、実際に基準価額を超えて分配金が支払われることはありません。

決算期毎にインカム収入^{*}を中心に分配を行うことを目指すファンドです。

^{*} インカム収入とは、債券の利子収入、為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）収入等をいいます。

- ・ ファンドに蓄積された過去の運用成果（分配原資）を加味する場合があります。
- ・ 投資対象資産や為替の値動き等により基準価額が下落した場合でも、原則として、インカム収入相当については、分配を行います。

● 今後の運用方針




アジア・ハイ・イールド債券ファンド（毎月分配型） 成長通貨コース

今後も、「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）」および「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）」の投資比率を概ね均等に保つことにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。

日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド

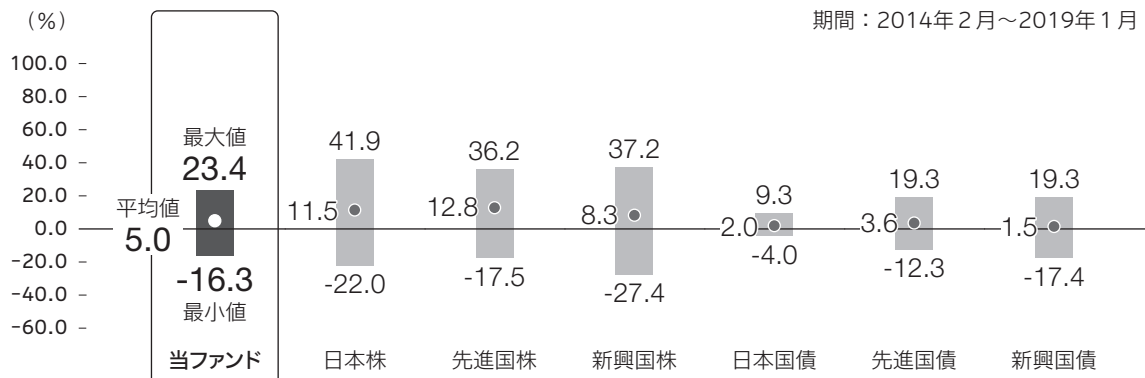
FRBが今後の金融引締めに対して慎重な姿勢を示していることから、クレジットスプレッドは当面縮小傾向で推移する見込みです。一方で、2019年も米国経済が堅調に推移した場合には、FRBがさらなる金融引締めを行うことも考えられることから、今後の経済動向を注視する必要があります。米国の追加利上げ観測の後退に伴って新興国市場への資金回帰の動きが広がっています。アジア各国の経済基盤は引き続き堅調で、企業の財務基盤も健全な状況にあることから、中長期的にはアジア・ハイ・イールド債券市場は底堅い推移を予想しています。

● 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2011年11月14日から2021年8月10日まで
運用方針	インカムゲインの確保と信託財産の成長を図ることを目指します。
主要投資対象	 アジア・ハイ・イールド債券ファンド（毎月分配型） 成長通貨コース 投資信託証券
	 日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3） アジア地域の米ドル建てのハイ・イールド債券等
	 日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4） アジア地域の米ドル建てのハイ・イールド債券等
運用方法	<p>① 主として日本を除くアジア（オセアニアを含む）のハイ・イールド債券（米ドル建て等）を実質的な主要投資対象とし、インカムゲインの確保と信託財産の成長を目指します。</p> <p>② 当ファンドは、原則、相対的に金利水準が高く、成長性が高いと考えられる6通貨の為替取引を行い、為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）の獲得を目指します。</p>
分配方針	<p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>① 分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>② 収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p>

● 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

期間：2014年2月～2019年1月



* 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

* 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)
日本国債	NOMURA-BPI国債
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

※ 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- 当ファンドについては、分配金 (税引前) 再投資基準価額の騰落率です。
- 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

指数に関する詳細は15～16ページをご参照ください。

当該投資信託のデータ

● 当該投資信託の組入資産の内容

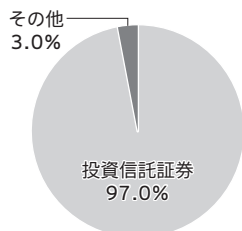
※ 組入銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

組入ファンド

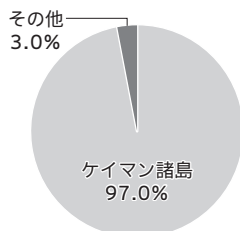
	第87期末 2019.2.12
NikkoAM Asia Investment Series- NikkoAM AsiaHighYieldBondFund IV	48.8%
NikkoAM Asia Investment Series- NikkoAM AsiaHighYieldBondFund III	48.2%

注. 比率は第87期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

資産別配分



国別配分



通貨別配分



注. 比率は第87期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

● 純資産等

項目	第82期末 2018.9.10	第83期末 2018.10.10	第84期末 2018.11.12	第85期末 2018.12.10	第86期末 2019.1.10	第87期末 2019.2.12
純資産総額	512,459,922円	526,590,973円	537,595,221円	526,634,022円	484,204,147円	495,404,623円
受益権総口数	1,076,486,408口	1,073,254,090口	1,064,825,156口	1,043,782,200口	990,985,794口	979,582,447口
1万口当たり 基準価額	4,760円	4,906円	5,049円	5,045円	4,886円	5,057円

※ 当作成期間（第82期～第87期）中における追加設定元本額は20,292,693円、同解約元本額は137,464,594円です。

当該投資信託の組入資産の内容／純資産等

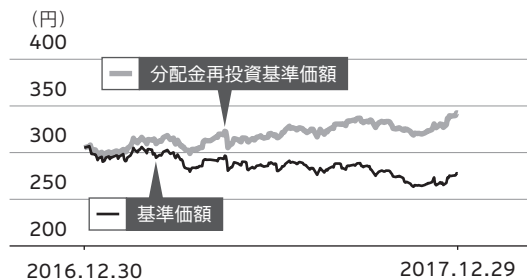
● 組入上位ファンドの概要

※ 組入ファンドの計算期間の詳細な運用経過等に関する詳細な情報については、運用報告書（全体版）に記載されています。

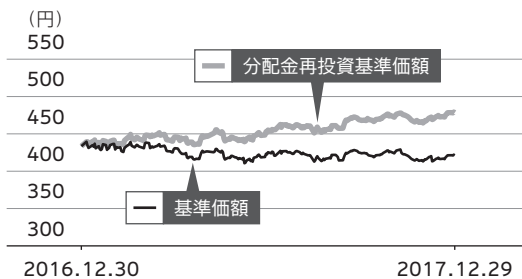
日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド

基準価額の推移

(クラス3)



(クラス4)



- 基準価額は、アジア・ハイ・イールド債券ファンド（毎月分配型） 成長通貨コースの基準価額算出に用いた価額（算出日の前日（海外）の価額）を表示しています。
- 分配金再投資基準価額は、2016年12月30日の基準価額に合わせて指数化しています。

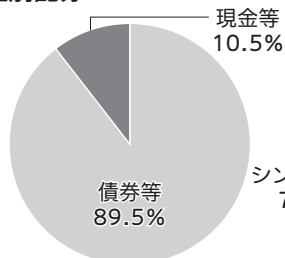
1万口当たりの費用明細

当該期間（2017年1月1日～2017年12月31日）の1万口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載していません。

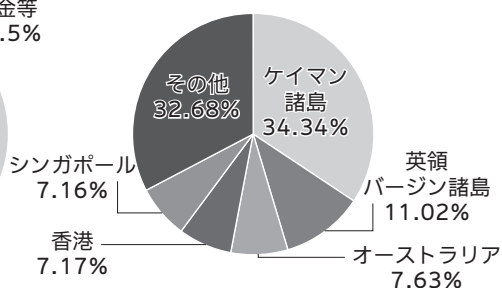
組入上位10銘柄

銘柄名	国・地域	クーポン	償還日	比率
1 Kwg Property Holding Limited 8.975% 14-jan-2019	中国	8.975%	2019/01/14	2.5%
2 Huachen Energy Co. Ltd. 6.625% 18-may-2020	中国	6.625%	2020/05/18	2.3%
3 Shui On Development (holding) Ltd. 9.625% 10-jun-2019	中国	9.625%	2019/06/10	2.3%
4 China Sce Property Holdings Ltd. 10.0% 02-jul-2020	中国	10.000%	2020/07/02	2.2%
5 Macquarie Bank Limited 6.125% Perp	オーストラリア	6.125%	永久債	2.1%
6 Chong Hing Bank Limited 6.5% Perp	中国	6.500%	永久債	2.1%
7 Golden Legacy Pte Ltd. 8.25% 07-jun-2021	インドネシア	8.250%	2021/06/07	2.1%
8 Pb International Bv 7.625% 26-jan-2022	インドネシア	7.625%	2022/01/26	2.0%
9 China Evergrande Group 8.75% 28-jun-2025	中国	8.750%	2025/06/28	2.0%
10 Country Garden Holdings Co. Ltd. 7.25% 04-apr-2021	中国	7.250%	2021/04/04	1.9%
組入銘柄数		78銘柄		

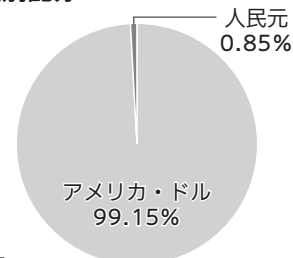
資産別配分



国別配分



通貨別配分



注1. 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの決算日（2017年12月31日）現在のものです。

注2. 国別配分の比率は、組入債券の評価額に対する割合、左記以外の比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

注3. 組入上位10銘柄、資産別配分および通貨別配分は、日興アセットマネジメント アジア リミテッドが作成したデータを掲載しています。国別配分は、組入ファンドの財務諸表より、委託会社が翻訳し作成したものです。

● 指数に関して

「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

■ 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東京証券取引所第一部上場全銘柄の基準時（1968年1月4日終値）の時価総額を100として、その後の時価総額を指数化したものです。東証株価指数（TOPIX）は、東京証券取引所の知的財産であり、東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

■ MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界主要国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成した株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

■ MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）は、MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに委託会社が独自に計算したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

■ NOMURA-BPI国債

野村證券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数です。NOMURA-BPIに関する一切の知的財産権その他一切の権利は、すべて野村證券株式会社に帰属します。野村證券株式会社は、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

■ FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

■ JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

J.P. Morgan Securities LLCが算出し公表している指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。同指数の著作権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

ホームページにて当ファンドの詳細をご案内しております。

アジア・ハイ・イールド債券ファンド（毎月分配型） 成長通貨コース

検索

<https://www.sjnk-am.co.jp/fund/0927/price.html>

The screenshot shows the fund's website with the following details:

- Header: SOMPO ホールディングス 損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント | ENGLISH | Innovation for Wellbeing SOMPO ホールディングス
- Navigation: ホーム (Home), ファンド情報 (Fund Information), マーケット・ファンドレポート (Market & Fund Report), 当社の資産運用 (Our Business), 会社情報 (About Us)
- Breadcrumbs: HOME > ファンド情報 > アジア・ハイ・イールド債券ファンド（毎月分配型）成長通貨コース
- Left Menu: ファンド情報, ファンド一覧, 基準価額一覧, ファンド検索, 分配金・償還金一覧, 販売会社一覧
- Main Content: アジア・ハイ・イールド債券ファンド（毎月分配型）成長通貨コース, 日本経済新聞掲載名: アジ債成長
- Document List (highlighted in a box):

交	交付目論見書 (2018.11.10)	運	交付運用報告書 (2018.08.10)	週	最新週次レポート (2019.02.15)
請	請求目論見書 (2018.11.10)	運	運用報告書 (全体版) (2018.08.10)	休	海外休業日 (申込不可日) 2019年
販	販売用資料 (2018.11.10)	月	最新月次レポート (2019.01.31)	い	分配金のお知らせ (2019.02.12)
- Footer: ピックアップファンド, ① 交付運用報告書・運用報告書 (全体版) バックナンバー

各書類の最新版をご確認いただけます。

交

交付目論見書

当ファンド購入に際して投資判断に必要な重要事項をご説明しております。

運交

交付運用報告書

当ファンドの運用状況について重要な事項をご説明しております。

週

最新週次レポート

当ファンドの運用状況を週次でご説明しております。

請

請求目論見書

交付目論見書より詳細な当ファンドの情報をご説明しております。

運全

運用報告書（全体版）

交付運用報告書より詳細な運用状況をご説明しております。

休

海外休業日（申込不可日）

購入・換金の申込不可日をご案内しております。

販

販売用資料

目論見書を補完する内容をご説明しております。交付目論見書と併せてご覧ください。

月

最新月次レポート

当ファンドの運用状況を月次でご説明しております。

い

分配金のお知らせ

決算期の分配金の推移についてお知らせいたします。

本報告書作成時点のものを掲載しております。